

地域にはばたく市民パワー!

**ところざわ倶楽部「広場」**

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2012年 3月号(第48号)

発行責任者 加曾利 厚雄



緑町中央公園の白梅 23.1.13 編集担当撮影

**ところざわ倶楽部のホームページ 新装なって開設**

広報部(HP 担当理事) 岡田 俊吾

会員各位のご支援と前任者のご協力をいただき、「ところざわ倶楽部」第5期の主要事業の一つであります、ホームページ(HP)の更新作業を進めて参りましたが、3月1日をもって正式な運用体制に入りました。

私たち「ところざわ倶楽部」の魅力と、各サークルの興味深い活動や信条を満載し、また、ご投稿いただいた心に響くエッセイや楽しい写真を載せ、膨大なHPになりました。是非とも各頁を細かくご覧いただければと思います。

更新作業をする過程で、皆様の原稿を整理しておりますと、サークル活動のダイナミズムは、グループ・リーダーの方々の“熱意”と“誠意”、“好奇心”と“企画力”に大きく左右されていることが分かり、かつ、そこに参加する人たちの“充実感”が理解できました。今後、逐次ご紹介させていただきますが、今回アップロードしました新規誕生サークル「地域の祭り研究会」の、興味深い行事の見学と行き届いた活動計画、そして、市政は市民が選出する議員で構成される「市議会」がポイントとなる「市政を見守る傍聴席」の緻

密な情報構成に感心しました。これらのページへのアクセスをお勧めします。

HPが皆さんの情報交流の広場となり、他のサークルの活動状況に刺激されて、結果として自分達のサークル活動が活性化していくという、そんな役割をHPが担うことができればと願っております。

HPの魅力はコンテンツ次第でしょう。皆様からの楽しい記事や写真の積極的寄稿をお待ちします。

新しいHPのURLは次のとおりです。

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~tokorozawaclub/>

【ところざわ倶楽部 公開講演会】

— どうして今頃男女平等? —

開催日:3月23日(金)午後2時～4時

会場:中央公民館ホール(元町)

講師:皆川満寿美先生(大学非常勤講師)

専門は社会学、ジェンダー研究。東日本大震災後は地方自治体の復興政策に「女性の視点」を入れるための埼玉県のプロジェクトに参画するなどご活躍されています。多くの方のご参加をお待ちしています。

## [ 5 月期公開講演会予告 ]

**歌舞伎・文楽の中の清盛像**

事業部長 若山昭

講師：近藤 瑞男先生（共立女子大学文芸学部教授）  
 開催日：5 月 17 日（木曜日） 午後 2 時～4 時  
 会場：所沢中央公民館ホール（元町）

2012 年度の NHK 大河ドラマは「平清盛」。毎週日曜日の午後 8 時を楽しみにしている方も沢山おられるのではないかと思います。ドラマは始まったばかり、これからの展開やいかにといいところでは。

時間に余裕ができると、働いていた時には目を向けられなかった、歴史や歌舞伎、文楽などの伝統芸能にも親しんでみたいと思うのですが、今回は歴史と伝統芸能二つをいっぺんにという欲張った企画です。

講師は市民大学ではもう皆様お馴染みの、共立大学文芸学部教授近藤瑞男先生です。歌舞伎や文楽の世界で、清盛はどんな人物として表現されているのか。乞うご期待！（詳細は 4 月号）

## 「生涯教育には 官・学・産・民の連携を！」

生涯学習推進センター所長  
金子美也子 氏



2 月 2 日、副会長とともに、生涯学習推進センターに伺い、所長への今期就任の挨拶を行ってきました。

面会室で待っていると、所長の金子さんが手に紅茶を持って現れました。所内の皆さんが、ゆったり落ち着いた気分になれるように、自ら紅

茶を入れるなど、雰囲気作りをされているそうです。

出された紅茶が実にうまい。飲んだ瞬間、TV ドラマ『相棒』の主人公、杉下右京の気分でした。

お話しを伺うと、生涯教育について、官・学・産・民の連携に意欲的であり、各種生涯学習修了者の能力の活用や、ところざわ倶楽部との事業共催にも考え方が極めて柔軟で、前向きでした。今までわが倶楽部は、生涯学習推進センターとの連携が必ずしも円滑ではあったとは言えませんが、今後は緊密に連携して行くべきであり、所長も我々の活動に理解を示して下さいました。（ところざわ倶楽部会長 加曾利 記）

## [ 埼玉安藤ゼミによる所沢シンポジウム ]

## 埼玉大生と考えよう！ 「地域で楽しむセカンドライフ」

開催日：3 月 21 日（水） 14:00 ～ 17:00  
 会場：生涯学習推進センター多目的室 101 号  
 基調報告：安藤聡彦埼玉大学教授  
 ワークショップ：埼玉大学安藤ゼミの学生と参加者

皆さん、充実したセカンドライフを生きていますか？地域につながりを持ちたいと考えてはいるが、実際にはつながることができない。何かをやりたいが、見つからない、踏み出せない。家族ともギクシャク。

実りある老後を生きるため、安藤先生のお話を聞き、安藤ゼミのみなさんと退職後の生き方について語りあってみませんか？（別添のチラシ参照！）

連絡先 渡部正俊（公園を楽しむ会）

☎ 2921-3014 e-mail:geb03507@nifty.com

## 平成 24 年 2 月理事会報告

総務部長 菅沼庸雄

[13 日（月）10 時～] 全理事 21 名中 20 名出席  
**加曾利会長** 当面の課題に対する所見開陳。

- ・ 1 月の北欧デンマークの福祉の講演会は成功。素晴らしい講師との良い関係を保ちたい。
- ・ 2 日に正副会長で生涯学習推進センター長を訪問、今後の事業共催の可能性などの意見交換を実施。
- ・ 市民大学 18 期生のサークルへの参加は、総務部の努力で成功裏に進んだ。
- ・ 今後は市民大学との連携強化を図りたい。倶楽部会員に更なる学びの場の提供を検討したい。

**若山事業部長** 1 月講演会の纏め、3 月講演会の準備状況、5 月期事業は近藤瑞男先生による「歌舞伎」中心の講演会を予定する旨の報告。

**池田広報部長** 「広場」2 月号の新企画の紹介及び 3 月号の企画案の説明があり、今後「学びの成果を地域活動に」の報告をシリーズ化する予定。倶楽部のホームページ刷新 P J の進行状況を、プロジェクトで映写しながら報告。写真を多用したカラフルな各ページはなかなかの出来上がり。3 月 1 日の公開を目指し準備中。

**菅沼総務部長** 前総会以降の会員動向の説明。市民大学 18 期生の倶楽部参加希望者は 45 名となる予想。各サークルで会員の動向を確認の上、今月中に総務部への報告を依頼。ダースの会が残念ながら今月で倶楽部を退会することになった。その結果現在 15 サークルで活動中。

# 支え！ 学び！ 遊ぶ！ サークル活動レポート

《 野老澤の歴史をたのしむ会 》

## 嵐山博物館企画展「鎌倉街道」をゆく

三島昭雄

2月16日(木)、新会員を含め、18人が西武新宿線本川越駅に9:30集合。東武東上線川越市駅から乗車、武蔵嵐山駅で下車する。

今回は「鎌倉街道」と繋がりのある嵐山町の史跡、博物館を訪ねた。

### 国指定史跡 菅谷館跡見学

菅谷館は、鎌倉時代の有力御家人であった畠山重忠の居館と伝えられているが、現在見られる遺構は戦国時代の城郭。山内上杉氏と扇屋上杉氏が争った長享年間の大乱の際に再興され、拡大・整備されてきたと言われている。



ボランティアの学芸員によるガイドで、約1時間をかけた説明があり、本郭を囲むように二の郭、三の郭、西の郭、南の郭が配置されていて、各郭は深い空堀と高い土塁で囲まれ、敵が容易に攻め込めないようになっている。

面積は約13万㎡あり、所沢市にある「滝の城址跡」とはだいぶスケールが違うようだ。



昼食は「国立女性教育会館」内の食堂を利用した。この施設は主に女性のための研修場所で宿泊施設が整っている。ただし、予約しておけば食事などは男性も自由に利用できるようだ。

### 安岡正篤記念館見学

昼食後、近くにある安岡正篤記念館を見学する。この記念館は平屋作りの日本家屋風のこじんまりとした建物になっている。安岡正篤氏は昭和天皇をはじめ、歴代の首相や政財界に大きな影響を与えた東洋思想家であった。また終戦詔勅原稿を作成したことで知られている。

### 埼玉県立嵐山史跡の博物館見学

この博物館には、畠山重忠などの武蔵武士が活躍した時代の城郭の写真や出土品が展示されていて、埼玉県の中世の歴史を分かりやすく紹介している。



駆け足の感があったが、充実した一日を過ごせたようで、午後4時近く、本川越駅で解散した。

### 今年の活動計画 (毎月第1、3木曜日に実施予定)

1月 5日(木)	初水天宮だるま市	7月 5日(木)	室内研修
1月 19日(木)	定例会議 活動計画	7月 19日(木)	ブルーベリー狩り
2月 3日(金)	神明社の節分祭	8月 2日(木)	山田うどん工場見学
2月 16日(木)	嵐山博物館企画展 「鎌倉街道」をゆく	9月 6日(木)	入間基地見学
3月 1日(木)	調理実習 手打ちうどん	9月 20日(木)	武蔵野三十三観音巡礼⑤
3月 15日(木)	武蔵野三十三観音巡礼①	10月 4日(木)	武蔵野三十三観音巡礼⑥ ☆
4月 5日(木)	鎌倉街道を歩く①	10月 18日(木)	鎌倉街道を歩く② ☆
4月 26日(木)	武蔵野三十三観音巡礼②	11月 1日(木)	軽便鉄道① ☆
5月 1日(火)	寅まつり(多聞院)	12月 2日(日)	熊野神社 しめ縄作り見学
5月 10日(木)	武蔵野三十三観音巡礼③	12月 20日(木)	定期総会 忘年会
未定	養蚕農家見学		
6月 7日(木)	武蔵野三十三観音巡礼④		
6月 21日(木)	忍城(古城めぐり)		

\* ☆ は来年も引き続き実施予定  
\* 9月 ところざわ倶楽部行事  
講演(近代史)、ウォークラリー

《「地域の自然」グループ》

## 里山を守る

### — 活動経過と今後の展望 —

加賀美 省吾

平成 20 年末、所沢市民大学 15 期 2 年次に、「地域の自然」講座を専攻した 7 名でグループを立ち上げ、その後、体調不良や家族の事情などでの脱会者もありましたが 3 年を経過し、17 期、18 期からの加入者を迎えて現在は 11 名です。この間、県の「みどりの埼玉づくり県民提案事業」に応募して 3 年連続で助成金を受け、更に 23 年度には全労済の「全労済地域貢献事業」の助成金をも受けて、調査計測機器や保全活動に必要な機材をほぼ取り揃え、自前の機材で活動できるまでに充実して参りました。



平成 21 - 22 年度は、早稲田大学の一部をお借りして、雑木林の“質”と“量”の現状把握調査を行いました。30m X 50m(1,500m<sup>2</sup>)の区

画を設けて毎木調査を行いました。毎木調査とは、区画内の地上 1.3m 以上の樹木全ての幹と枝に連番マークを付け、樹種名・幹、枝の直径・樹高・座標(区画内の樹木の位置)を調べ、雑木林の姿を見ることです。

その結果、“質”としては常緑樹が 87%、落葉樹が 13%で、全体では常緑樹の林でした。一方、直径から樹木の面積を分析すると常緑樹が 11%、落葉樹が 89%で“量”的には落葉樹が圧倒的に勝っていました。即ち、細い幹の常緑樹が密生し、太い幹の落葉樹が点在した雑木林です。昼間でもうす暗く、山野草も少なく、昆虫もやぶ蚊と足長蜘蛛位で、人の侵入を拒むような林でしたので林床に日光を届け生物多様性を豊かにする為に常緑樹の伐採を行いました。その際、樹木切片を切り出して年輪も測定しました。



最高樹齢は 40-45 年、即ち常緑樹が侵入したのは 40 数年前で、その前は落葉堆肥を作る

ために地主によって所謂里山として管理されていたと想像できます。逆に言えば、綺麗な里山も後継者、相続税などの問題で放置されると約 40 年後には鬱蒼とした生物多様性に乏しい姿になってしまうと言えます。

植物の種子が風や動物によって運ばれて発芽し、光合成して成長するには土壌は勿論、炭酸ガス・水・光が必要です。そこで林床の照度(相対照度)と稚樹や山野草の出現種と被度(その植物が 1m<sup>2</sup>に占める割合即ち成長度合)の関係も調査しています。侵入した種子が全て発芽する訳ではなく、折角発芽しても晩秋から冬にかけて枯死するものが殆どです。野原と違って山林の植物の遷移には長い時間を要し、1 - 2 年で植生の様相が一変することはないので、今後も継続的に追跡調査をしてゆきます。

平成 23 年度は、調査区を 1,200m<sup>2</sup>拡張して(従来区画との合計、45m X 60m=2,700m<sup>2</sup>)毎木調査・保全作業を行うと共に、折角作った落葉堆肥を利用しようと循環型農業(昭和 40 年代頃まで続いていた里山農業)に挑戦し、草地を開墾してさつま芋の栽培を行いました。収穫量は、28.6Kg/30m<sup>2</sup>(953Kg/10a:換



算)でした。年度は違うが市の農政課発行「所沢市の農業」資料と比較すると、平成 20 年専業農家のサツマイモ収穫実績は 2,250Kg/10a で、当グループの収穫はその 42%でした。初挑戦であり、まだまだ畑としての土壌改良が不十分です。

今後の予定は、①追加調査区の常緑樹伐採、②落葉掃きと堆肥作り、③堆肥すき込みによる畑土壌改良、④さつま芋栽培、⑤調査区のエコポイントと植生調査の継続、⑥市民参加による各種イベント、⑦他団体との協働、⑧勉強会・見学・散策会、⑨市有地林での毎木調査と保全活動など、無理はせず、年齢と体調を考慮しながら地道に進めてゆきたいと思っています。

## 【特別会員リレー寄稿第2回】

**所沢の緑を考える**

早稲田大学自然環境調査室主任

大堀 聡

**(1) はじめに**

1980年、比良の丘に立ち、早稲田大学建設予定地を見た。調査を行い、報告書をまとめたら、都心の広い調査地で毎日シジュウカラを追う生活に戻るはずだった。あれから30年以上が経過した。

1987年に現在の職場に変わった。今でも所沢、本庄、追分でシジュウカラを追っている。本庄ではオオタカの採食動物を調べ、所沢ではコナラの萌芽再生、湿地の生物多様性の保全の研究を行っている。

**(2) 早稲田大学の所沢進出**

1970年代、狭山丘陵にも開発の波が押し寄せた。1980年大学の三ヶ島進出決定を機に、狭山丘陵の保護団体が一つにまとまり、大学の進出に反対した。

狭山丘陵の自然と文化財の重要性を認識し、A地区(校舎やグラウンドがある)の開発では、それらを十分保護、保全すること、B地区(金仙寺に隣接する)では、湿地の保全計画決定後、開発計画を実施することを強く要求した。大学は要求を受け入れ、1987年4月人間科学部が開設された。



比良の丘からB地区を望む

**(3) 狭山丘陵**

狭山丘陵の面積 3500ha、平野に浮かぶ首都圏の緑の孤島である。中心には、水源林に囲まれた人造湖、多摩湖(村山貯水池)、狭山湖(山口貯水池)がある。林は緑のダムである。多摩川からの導水だけではなく、雨水を地下水として貯留し涵養する。

狭山丘陵は、何十万年も風雨や湧水による浸食を受けた。複雑に入り組んだ地形、まとまった緑、人が立ち入らない環境が、生物多様性を豊かにした。都心に近く多くの人が丘陵を歩くことも、多くの生物が記録される一因である。

**(4) 里山の荒廃**

敗戦後生活が変わり、落ち葉や薪炭、粗朶などが不要となり、人と雑木林の関わりは希薄になった。減反政策後、水田も激減した。不要となった雑木林や水田は造成され、宅地や道路、商業施設に変わり、緑の量は減少した。

放置された林は遷移が進行し、林床にはシラカシやヒサカキなどの常緑稚樹が侵入し、緑の質も変化した。持続可能な利用が行われなくなると、雑木林、田畑、

池や川などによって構成される里山は崩壊し、生物多様性も低下した。

**(5) 早稲田大学の湿地**

狭山丘陵には、たくさんの湿地(谷戸)があったが、現在では、東京都側16、埼玉県側11しかない。大学の湿地は、減反政策前には約150枚の田があった。土地取得時(1980)は12枚、取得後は0となった。その後約10年近く放置されたため、遷移が進み、乾燥化した。ヨシの分布面積が広がり、陸生植物が増え、オオブタクサなどの外来種も侵入し、乾燥化が進んだ。

反対運動はあったとはいえ、1990年代以降、大学は乾燥化を防ぎ、生物多様性を保全する努力をした。その結果、現在では、大学の湿地は丘陵内で最も面積が広く(3ha)、最も豊かな湿地である(県レベルの準絶滅危惧、絶滅危惧種が約80種)。

**(6) B地区湿地評価委員会**

2000年10月、県の提案により、県内の有識者6名、県、市、保護団体、大学によるB地区評価委員会が設置された(事務局 埼玉県生態系保護協会)。湿地の生物多様性を低下させず、B地区

に研究棟を建設するためである。

ミティゲーション措置(回避、低減、代償による影響緩和)、人と自然との共生(=持続可能な利用:利用するが、生き物の生活も守る)に基づいた保全計画

を作り、モニタリング調査を行うとともに、年2回の委員会で調査結果を報告し、計画の有効性を検討する。

余分な予算と時間を費やすが、丘陵の自然は大学だけのものではないからである。

**(7) おわりに**

市民大学では、地域の自然のあり方を考えるための講義を行っている。私たちが快適に暮せるのは、生活に必要なだけの緑が残されているからだ(生態系サービス)。緑は、失ったら二度と戻らない。

**プロフィール****大堀 聡(おおほり さとし)**

1947年東京生まれ

早稲田大学自然環境調査室主任・理工学部講師

専門:鳥類生態学、保全生態学

(公益法人)さいたま緑のトラスト協会理事、

県緑の森博物館運営委員

県生きものふれあいの里委員、

市民大学4、10、11、13~20期講師

彩の国生きがい大学講師、

所沢市家庭教育学級講師など

## 《地域の祭り研究会》

## 「秩父の人形サミット」見学記

吉田一憲

昨年 11 月に「小鹿野歌舞伎」を観て、長い歴史の中で生きてきた地域芸能の素晴らしさが話題になり、それがきっかけで、18 期 4G のメンバーが母体となって立ち上げたサークルです。会員は現在 32 名で、今回は最初のサークル活動です。

「人形芝居」見学は当初 4 月に計画していましたが、従来別々に演じられていた秩父地方の人形芝居の 3 座が、「秩父人形サミット 2012」として 2 月 26 日、皆野町文化会館で同時に開催されるのを知り、急遽、予定を繰り上げて実施することになりました。

日程に余裕がなく、参加者がどれほどになるか心配でしたが、奥様同伴で参加された方もおり、30 名の参加を得てバスでの見学会が実施出来ました。

## 「秩父人形サミット 2012」とは

芝居は江戸時代から伝わるもので、人形の操作方法が 3 座で異なるなど特徴があります。今回公演するのは、横瀬町の「人形芝居」、秩父市の「白久の串人形」と、皆野町の「出牛(じゅうし) 人形浄瑠璃」の三つ。いずれも国や県、市町の民俗文化財で、地元の祭りなどで定期的に披露されてきました。

## 1. 横瀬人形芝居 (県指定無形民俗文化財)

一体の人形を一人遣いで操り、「ふくさ人形」とか「秩父人形」などと呼ばれてきました。



親子対面矢取りの場面

人形の背中から右手を入れ、人差し指と中指の間に胴串をはさみ、親指と小指に人形の手を結びつけます。

人形芝居には珍しい廻り舞台を持っています。

## 2. 白久の串人形芝居 (県指定無形民俗文化財)

江戸時代末期、白久(現 秩父市荒川地区)の人たちが、卵の殻に顔を描いた手作りの人形で始めたものと伝えられています。

人形は二人遣いで、主遣いが首・目・眉を動かし、手遣いが主遣いの後ろから、人形の手首に差し込んだ竹串で、左右の手を操ります。このことから「串人形」

呼ばれています。



御所桜堀川夜討弁慶上司の段

## 3. 出牛人形浄瑠璃 (県指定有形民俗文化財)

かつては中山道筋の本庄・児玉方面から秩父への重要な道筋で、「出牛の宿」として栄えた地(現 皆野町)に伝わる三人遣いの人形です。

この出牛人形は不動様の縁日に三番叟の人形を飾り供えたり、雨乞い人形を飾り喜雨を願ったり、人形の持つ呪力や信仰が今でも生きています。



傾城恋飛脚 新口村の段

帰路参加者が述べた感想は以下のとおりです。

1. 人形劇も座によって操り方が違うのを初めて知った。
2. きめ細かいガイダンスが用意されていたので、初めてだがよく理解できた。
3. 幹事さんの車中での解説や保存会の幕間の解説で、人形芝居の歴史を知ることが出来て良かった。
4. 人形が射られた 3 本目の矢を口で受け取る様は流石のもの・・・
5. 次回の企画を楽しみにしている。

それぞれ地域の人達が、伝統的文化を守るために、家業の合間をぬって練習を重ね、今日に至っているご苦労とともに、今後の課題として、高齢化の進む中での後継者難と財政難を訴えておられました。

参加者一同、保存会の皆さんの努力に敬意を表するとともに今後の健闘を願いつつ、第 1 回のイベントを無事終了しました。

参加いただいた皆さんに感謝!!感謝!!

# サークル活動計画

3月・4月の活動に、皆さん参加してみませんか！

<p><b>サークル活動計画</b></p> <p>3月・4月の活動に、皆さん参加してみませんか！</p>	<p><b>地域の祭り研究会（影山洋）</b>                  3月14日(水) 新所沢公民館 11時～13時 例会                  地域に長年伝わる伝統芸能や祭りの調査。                  会員・イベント参加者からの見学探訪候補地の検討会。</p>
<p><b>アジア研究会（小椋雄二）</b>                  3月21日(水) 13時30分～17時 3月定例会                  中央公民館 8、9号室 DVD「メコン川流域のラ                  オス」「ベトナムのカントー」の暮らし紹介                  4月18日(水) 4月定例会予定、詳細未定</p>	<p><b>地域の自然（加茂恵三）</b>                  3月24日(土)9時～ 常緑樹伐採と年輪測定早大                  4月7日(土)9時～ 同上                  4月21日(土)9時～ 同上                  5月12日(土)9時～ 畑の掘り返し早大B地区</p>
<p><b>傍聴席（高垣輝雄）</b>                  3月19日(月) 定例会、15時～ 新所沢コ・セン別館                  ・市長の市政方針(4月から一年間の市の基本方針と、                  政策についての姿勢)を聴いての感想と懇談。                  (教育施策と教育予算の変わり様を確かめます)</p>	<p><b>歴史散策クラブ（大河原功）</b>                  3月10日(土) 難波田城公園・水子貝塚公園                  集合場所・時間：所沢駅池袋行ホーム最後尾 8:40                  4月6日(金) 皇居周辺散策／花見                  集合時間・場所：所沢駅池袋行ホーム最後尾 10:00</p>
<p><b>楽悠クラブ（甲田和巳）</b>                  3月13日(火) 歌劇「カルメン」(ビゼー)DVD鑑賞                  4月10日(火) 映画「続・菩提樹」DVD鑑賞                  場所：中央公民館 時間：13:30～                  3月31日(土)ホクストラの日コンサート(場)東京文化会館</p>	<p><b>ドラマティック・カンパニー（八木雅子）</b>                  シェクスピア「アントニーとクレオパトラ」進行                  3月24日(土) 9時30分～11時30分                  新所沢コミュニティセンター別館                  4月7日(土) 9時30分～11時30分新所沢東公民館</p>
<p><b>地球環境に学ぶ（塚本二郎）</b>                  3月21日(水) 15:00～ 新所沢コ・セン別館 5号                  定例会 今夏の節電対策について他                  ※18期以外の方も覗いてみて下さい                  4月17日(火) 15:00～ 新所沢東公民館 定例会</p>	<p><b>葵の会（池田新八郎）</b>                  3月8日(木) 13:30～16:00 中央公民館 2                  古典講座平家物語第1回 祇園精舎・殿上閣討                  4月12日(木) 予定 第2回 祇王                  ※興味のある方は積極的にご出席ください。</p>
<p><b>地域の自然を考える会（前岳良子）</b>                  3月17日(土) ススキ刈り払い作業                  (早稲田大学WAVOC)                  3月27日(火) 定例会 新所沢公民館                  4月24日(火) 定例会 新所沢公民館</p>	<p><b>野老澤の歴史を楽しむ会（山本苗子）</b>                  3月15日(木) 武蔵野33観音巡礼①練馬高野台より約5K                  4月5日(木) 鎌倉街道を歩く①入曽より                  4月26日(木) 武蔵野33観音巡礼②ひばりヶ丘より約9K</p>
<p><b>公園を楽しむ会（渡部正俊）</b>                  3月22日(木)：「六義園しだれ桜と、とげぬき地蔵」                  9時30分所沢駅東口改札口集合                  4月26日(木)：「航空公園からカルチャーパークへ」                  カルチャーパークのディーキャンプ場でBBQを予定</p>	<p><b>北欧の会（樋口俊夫）</b>                  3月24日(土) 第29回例会 13:20～                  場所 新所沢コ・セン別館                  4月28日(土) 第30回例会 13:20～                  場所 新所沢東公民館</p>
<p><b>所沢の自然と農業（高橋起彦）</b>                  3月13日(火) 13:30～ 新所沢コ・セン別館 定例会                  3月18日(日) 10:00～ 横山農園落ち葉掃き支援                  3月31日(土) 伊豆が岳方面ハイキング(有志)                  4月10日(火) 13:30～ 新所沢東公民館 定例会</p>	<p><b>音楽連・市民大学派（若山昭）</b>                  3月19日(月) (中央公民館 13:00-15:00) 例会                  4月16日(月) (中央公民館 13:00-15:00) 例会                  4月23日(月) (中央公民館 13:00-15:00) 例会                  5月7日(月) (中央公民館 13:00-15:00) 例会</p>



料理コーナー

後藤律子

まだまだ寒い日が続いています。インフルエンザも流行していますが、皆様お元気でしょうか。

今月は男性からのレシピ投稿がありましたので、紹介いたします。ニンニク、唐辛子たっぷりのレシピなので、これを食べると風邪も逃げて行くのではないかと思います。

これからも、会員の皆様の投稿を募集します。特に、男性からの投稿は大歓迎です。ユニークな料理、食べて美味しかった料理等、投稿をお待ちしています。

<唐辛子ニンニク味噌>

【材料】 公園を楽しむ会 坂本眞征

- ① 青唐辛子 50本 ②ニンニク 3~5かけ(市販のすりおろしニンニク大匙3~5でもよい)
③ 赤味噌 200g ④ 白味噌 100g (赤・白の比率は好みでよい) ⑤ 酒 50~70cc (好みで味噌 10cc を加えてもよい)



【作り方】

- ① すり鉢又はボールに味噌と酒を入れ、練り味噌を作る。柔らか過ぎにならないように、お酒は少しずつ入れる。
② 青唐辛子をみじん切りにする。この時、ゴム手袋(左手)着用を勧める。
③ ニンニクをすりおろす。
④ 胡麻油少々をフライパンに入れ②と③をさっと炒め、次に①の練り味噌を入れて焦がさないように手早く混ぜる。好みで白すり胡麻をいれる。

★ 焼き鳥、茹で豚肉、茹で野菜につけたり、ご飯にのせたりなどがお勧めです。

むさし野俳句会(二十四年一月) 作品抄

水音を蔵して山の笑ひけり
賽銭とともに取り出す納め針
殊のほか光含みし猫柳
地に落ちてより華やける椿かな
風邪の子の耳朶透けて熱兆す
にび色の流れ二月の隅田川
琴の音に微かに緩む寒牡丹
菜の花や釣り舟いでし潮境
灯りたる騒立つ家の雛かな
水鳥の足を取られる氷点下
日に一度廻る木洩れ日春の草
せせらぎや魚籠に摘みたる露の臺

鈴木すぐる 鈴木すぐる
鈴木 征子
中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子
荒幡千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇
海老澤愛之助
岡本 博
粕谷 昇
河瀬 俊彦

いさぎよき音を奏でる霜柱
早梅や御目のやさし露座仏
臥す父の靴を揃へし冬の朝
物の怪のまた近付きぬ多喜二の忌
斑雪五百羅漢の下り眉
吾がために小さき陶器の雛を買ひ
三寒につづく四温のきのふけふ
土を蹴る腿の眩しき寒稽古
傘さすも蓑着るもあり寒牡丹
寒茜野道に闇の降りて来し
豆撒きに袋広ぐる親子かな

小林 貞夫
小林 典子
佐藤 英子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋 三郎
高橋三加子
高橋 泉
田中 溢子
利根川啓一

編集後記

▼ 今年の冬は殊のほか厳しい寒さが続きました。雪国では記録的な大雪に見舞われて、除雪費用が足りなくなったとか。ここ所沢も寒に入って以降回数雪が積もり、立春を過ぎても厳しい寒さが続きました。しかし、さすがに3月の声を聞くと少し春めいて、遅れていた梅も開いてきました。

▼ 梅と言えば、昨年3月10日、「公園を楽しむ会」の水戸・大洗方面へのバス・ツアーに参加し、偕楽園で梅見を楽しみました。大地震が大津波と共に東日本の太平洋側を襲い、多くの犠牲者を出した前日です。日程が1日遅かったら我々も犠牲者の一部に入っていたかも知れない、と語り合ったものです。あれからはや1年。復興は遅々として進んでいないようです。

そこで、今号の巻頭には犠牲者への追悼の意を込めて、菅原道真の和歌一首を掲げました。

▼ 「ところざわ倶楽部」の新装ホームページが、3月1日正式に運用を開始しました。

ホームページを作っても、見て貰えなければ何にもなりません。面白く、情報交流の広場として利用価値のあるものにし、かつ、ところざわ倶楽部の活躍を多くの人々に知って貰うためにも、コンテンツの充実が不可欠です。そして、そのコンテンツは皆さんの提供する情報が命です。皆さん是非覗いてみて下さい。そして積極的なご意見や生きの良い、意義ある情報の提供、寄稿をお寄せ下さい。お待ちしております。(高橋 記)

「広場」原稿募集!

「広場」では、皆さんの「作品」「エッセイ」「提言」「料理コーナーの企画」等を募集しています。皆さんの声を幅広く反映させたく、積極的なご応募をお待ちしています。

連絡先 池田 ☎04-2940-0711
メール ikeda519@tbg.t-com.ne.jp